

少工支援の「BEST」にめぐらしく開発専門版に続々普及・運営へ

年度末専門版に続き基本版も
コンソーシアムで普及・運営へ

I BEC

建築環境・省エネルギー機構(BEBC)は、新たなエネルギー・システム開発として期待されるBEST(Building Energy System Optimization Tool)の開発に成功したことを公表した。08年3月に専門技術者が使う「BEST-IP(BEST-専門版)」をリリースし、その後すぐに行政支援ツールとして「BEST-B(BEST-基本版)」へ機能を拡張する予定。開発を行っていた同機構のBEST開発会議事研究会(村上三義会長)は年度末をもって終了、08年4月からは新たにコンソーシアムを設立し、普及や運営にあたる。

BESTは、民生部門の設備設計において、省エネルギー計画を策定する。エネルギー・計画を策定するためのエネルギー・システム開発に取り組んでいた。05年に建築環境

として、国土交通省の支援で産官学の協力のもと、開発に取り組んでいた。05年に建築環境

として、国土交通省の支援ツールとなる基本版を開発する。専門知識を用いる新しい建築・既存

ます、専門版を来年3月に公開し、続いて行政

を開催、精力的に取組会を開催するなど、ヨーザ

ーの視点に則ったプログラム開発を推進してきた。また、専門版を来年3月に公開しておいた。また、その成果は

に期待される。ソフトは住宅(台帳化)や業務用、あるいは新築・既存

を問わず使えるようにし

ている。さらに、将来的には特定の目的に対し、

特に専門的に開発したソフトとして「仮称」BEST(仮称)BE-ST-IP(仮称)BE-ST-拡張版)の開発も検討する。

また、BESTは建設分野において世界初となるオブジェクト指向のア

クラミング手法を探

り、簡単な力で高い計

算精度が得られるという特徴を目指して、開発を

広い活用を想定しておいた。この開発を

開発するため、ヨーザ

により幅広く普及すること

ができる。この手法は、関連ツタの集合とされ、対応する手順(メソッド)を「オブジェクト」という一つのまとまりとして管理。組合せによってソフトウェアを構築す

る。このほか、Webへの対応や、世界の標準規格を

遵守するなど、世界

標準のプロトコルを

指している。

08年4月からは、新たにコンソーシアムを設立

し、普及やメンテナンス

等の運営を行うこととな

る。今回、20周年記念

大会となっており、「環

境の世紀と建築家20

50年再生に向けて」を

テーマに、数多くのセミ

ナーナンボウム、セ

アーナンボウム、セ

</div

